

2026 年 10 月 6 日

各 位

会社名 SBI グローバルアセットマネジメント株式会社
(コード番号 4765)

(上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)

代表者 代表取締役社長 朝倉 智也

開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

運用資産残高の月次開示 (2026 年 9 月末)

—運用資産残高は 13 兆 9,651 億円、前年同月末比 45.2%増—

当社グループの 2026 年 9 月末の連結運用資産残高は 13 兆 9,651 億円（前月末比▲2.0%、前年同月末比+45.2%※1）となりました。減少の内訳は、資金純流入▲120 億円、市場要因▲2,636 億円になります。

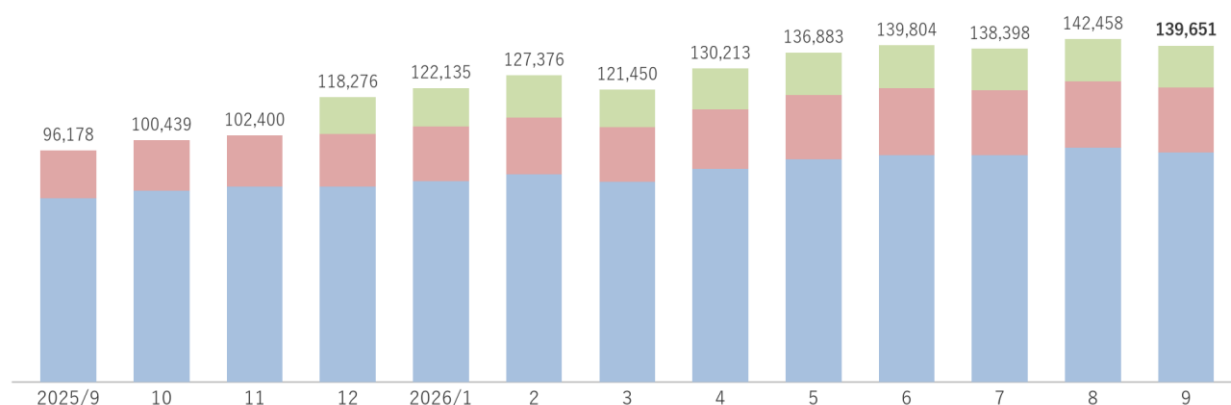
1. グループ連結 運用資産残高（各月末・億円）

	25/9	25/10	25/11	25/12	26/1	26/2	26/3	26/4	26/5	26/6	26/7	26/8	26/9
連結運用資産残高※2	96,178	100,439	102,400	118,276	122,135	127,376	121,450	130,213	136,883	139,804	138,398	142,458	139,651
前月末比	+29.8%	+4.4%	+2.0%	+15.5%	+3.3%	+4.3%	▲4.7%	+7.2%	+5.1%	+2.1%	▲1.0%	+2.9%	▲2.0%

< 連結運用資産残高の推移（運用会社別） >

(億円)

■ SBI アセットマネジメント (CARRET等含む) ■ SBI 岡三アセットマネジメント ■ レオス・キャピタルワークス



※1 前年同月末比は連結範囲の変更を含みます（2025 年 9 月末時点の連結運用資産残高には、レオス・キャピタルワークスを含んでおりません）。既存ベースの参考値として、SBI アセットマネジメントの前年同月末比は+29.9%です。

※2 投資信託（公募・私募）、投資顧問、海外子会社（CARRET 等）を含むグループ全体の運用資産残高であり、2. の表の区分（投資信託／投資顧問・海外子会社等）とは異なります。なお、月次推移は各月末時点の連結範囲に基づき、SBI 岡三アセットマネジメントは 2025 年 9 月末（2025 年 9 月 11 日連結子会社化）から、レオス・キャピタルワークスは 2025 年 12 月末（2025 年 12 月 1 日吸収合併）から合算しています。

2. 運用会社別 運用資産残高

	8月末(億円)	9月末(億円)	前月末比	前年同月末比
投資信託	131,921	129,165	▲2.1%	+28.3%
SBIアセットマネジメント	90,880	89,127	▲1.9%	+29.9%
SBI岡三アセットマネジメント	25,805	25,056	▲2.9%	+32.0%
レオス・キャピタルワークス	15,236	14,982	▲1.7%	+14.7%
投資顧問・海外子会社等※3	10,537	10,486	▲0.5%	+2.4%
連結合計	142,458	139,651	▲2.0%	+45.2%

※3 投資顧問・海外子会社等の9月末は、同日に最も近い時点で確定している数値の合計です。

3. 増減の内訳(資金流入と市場要因の分解・各月中・億円)

	25/9	25/10	25/11	25/12	26/1	26/2	26/3	26/4	26/5	26/6	26/7	26/8	26/9
資金純流入※4	+446	+2,103	+654	▲276	+1,863	+1,290	+1,209	▲296	+1,187	+1,532	+1,389	+932	▲120
市場要因※4	+2,273	+3,843	+1,125	+1,036	+1,838	+3,481	▲7,086	+8,527	+5,107	+1,057	▲2,861	+3,124	▲2,636

※4 資金純流入・市場要因は、グループ各社の国内投資信託(公募・私募)ベースの概算値です。集計範囲が連結運用資産残高と異なるため、両者の合計は連結残高の増減額とは一致しません。月次推移の各月値も、各月末時点の連結範囲に基づき集計しています。

4. 当月の市場環境

	8月末	9月末	騰落率
日経平均株価	66,311.93	66,753.72	+0.7%
TOPIX	4,156.29	4,108.65	▲1.1%
S&P500	7,686.14	7,651.54	▲0.5%
NASDAQ 総合	26,370.89	26,861.06	+1.9%
ドル円	159.73	157.39	▲1.5%

9月は日米の中央銀行がそろって利上げを決定しました。米国では米連邦準備制度理事会(FRB)が約3年ぶりに利上げし、長期金利の上昇を受けてS&P500は月間▲0.5%と下落した一方、ハイテク株中心のNASDAQ総合は業績期待から+1.9%と上昇しました。国内では日本銀行が政策金利を1.25%程度へ引き上げました。株式市場は、半導体関連株に支えられた日経平均株価が+0.7%と小幅に上昇した一方、TOPIXは▲1.1%と下落しました。為替は1ドル=157円台となり、前月末比1.5%の円高となりました。

5. 当月の主なトピックス

- SBIアセットマネジメント：世界の金鉱株の成長機会を捉える『SBIフランクリン・テンプルトン金鉱株式ファンド』当初募集開始。
- SBI岡三アセットマネジメント：「ROBOPRO ファンド」は、地銀大手の採用が継続し、販社は51社まで増加。「米ドルMMF」は、資金流入が継続し、純資産総額は1,600億円台へ拡大。

■ レオス・キャピタルワークス：株主優待の効果により、直販口座数は 2026 年 3 月末から約 1.6 万口座（+13.5%）増加し、約 13.2 万口座となりました。未上場企業にも投資する「ひふみクロスオーバーpro」において、新たに株式会社ころのカンパニーへ投資しました。

6. GAM2030 ビジョンへの進捗状況

当社は、2027 年 3 月期中の運用資産残高 20 兆円、2030 年 3 月末の 50 兆円を目標としております。当月末の連結運用資産残高 13.9 兆円は、20 兆円目標に対して 69%、50 兆円目標に対して 27%の水準です。

（次回開示予定）

2026 年 10 月末の運用資産残高は、2026 年 11 月の 5 営業日までに開示する予定です。

※本資料に記載の数値は速報値・概算値を含み、集計範囲・集計時点等の相違により、決算関連資料の数値と異なる場合があります。

****【本件に関するお問い合わせ先】*****

S B I グローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話：03(6229)0812 メールアドレス：
sbigam@sbiglobalam.co.jp